

# 平成20年度 市民企画事業補助金 成果報告書



八王子市

平成21年7月

# 目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧表	4
5	事業成果報告	5
	(1) 民間レベルの日中友好活動基礎作り	6
	(2) パフォーマンスママ「レインボーズ」	8
	(3) 発達障がい子どもたちを地域で支援・育てる	10
	(4) 紙芝居普及活動	12
	(5) 脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	14
	(6) 音楽療法体験ワーク&音楽療法講座	16
	(7) 八王子・ケムニッツ 日独交流演奏会	18
	(8) 親子ふれあいキャンプ2008	20
	(9) 市民参加型 援農活動による農業活性化	22
	(10) かんたん洋裁 易しい優しい洋裁仲間	24
	(11) 子育てサポーターの街にしよう！「子育てしやすい街・八王子」	26
	(12) パン作りで心もからだもリフレッシュ	28
	(13) 子どもの虐待防止のための事業	30
	(14) 知って得する高尾駅周辺情報「高尾界限」出版本	32
	(15) 女性のための市民活動スタート応援事業	34
	(16) みんなで作る子育てマップ	36
	(17) こころのびのびコミュニケーション	38
	(18) 八王子学の体系化と八王子検定の仕組みづくり	40
	(19) デイジー図書作製	42
	(20) 読書のまち八王子を活性化する学校図書館	44
	(21) 八王子大江戸舞祭2008	46
	(22) 夢あるまちづくり	48
	(23) 外国人のデジタルデバイド解消のためのパソコン相談会・学習会	50
	(24) 八王子周辺花めぐりマップ	52
	(25) ふるさとの食を拓く	54
	(26) 八王子子ども祭り	56
	(27) 高齢者の生きがいつくりと子ども支援、住みよい町づくり	58
6	成果報告会アンケート結果	60
7	交付団体連絡先一覧	66

# 1 市民企画事業補助金の概要

## (1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

## (2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、すでに公益的な活動に取り組んでいる、又はこれから取り組もうとする団体の活動を紹介するために要する経費の補助をします。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

## (3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査、及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行い、審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民コメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当部による確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
審査委員審査	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

本概要は20年度の概要であり、21年度以降は変更される可能性があります。

21年度の内容は、市のホームページに掲載予定です。

市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

## 2 事業成果報告等の経過

### (1) 公開プレゼンテーション

日 時 平成20年2月10日(日)  
10:00~18:00

場 所 クリエイトホール 5階ホール

参加団体 36団体

一般参加 33名



### (2) 情報交換会

日 時 平成20年10月6日(月)  
13:30~16:30

場 所 市役所 904会議室

参加団体 19団体 31名



### (3) 成果報告会

日 時 平成21年5月30日(土)  
13:30~18:00

場 所 北野市民センター ホール

報告団体 27団体

一般参加 41名



### (4) 事業成果のパネル展示

日 時 平成21年6月15日(月)~26日(金)

場 所 市役所 2階市民ロビー



### 3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 首都大学東京都市教養学部教授 和田清美

平成20年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が、去る5月30日(土)午後、北野市民センターにおいて開催され、活動支援部門6事業、事業実施部門21事業の計27事業の報告が行われました。与えられた報告時間は1事業8分という、極めて限られていたにも関わらず、本年度をもって6度目の成果報告会とあってか、パフォーマンスあり、プロジェクターを使ったものあり、団体の個性を活かした工夫ある成果報告がなされ、予定した時間はあっというまに過ぎ、大変熱気あるものでした。では、以下、審査委員長としての講評を三点述べさせていただきます。

第一は、本報告会の趣旨が事業の成果にあることから、何をもって成果とするか逆に問われることにもあるわけですが、報告で目立ったのは、会員の増加数や活動・事業依頼数の増加、活動・事業への参加人数の増加、あるいは出版活動・事業では販売数など、その成果を数値化して示すことにより、大変説得力のあるものでした。その一方、数値化しにくい活動や事業は、活動・事業の参加者や利用者の意見や感想の紹介、成果報告書の作成の紹介、活動内容の実演といった方法で、その成果が提示されました。その結果、本年度の活動支援部門並びに事業実施部門の活動・事業は総じて大いに成果があったと評価できます。

第二は、既に本補助金制度が本年度で6年目ということからも、本補助金制度が、広く市民に普及している実態が浮き彫りにされたことです。それは、成果報告を行った27団体のほとんどの団体で、本補助金交付を受けているということが活動や事業を展開する上で「社会的信用」となっていると指摘されたことです。これは、本事業を継続して推進してきた行政としては大変喜ばしく、本事業の意義を再確認できた報告会でもありました。

最後に、第三は、本補助金制度の目的や意義ともかかわって、いくつかの問題点が浮き彫りになりました。その一つが本補助金交付事業の終了後の活動・事業の展開の問題です。これは特に3年間継続して本補助金交付を受けていた団体から出されました。本来、本事業は市民活動・事業の自立を支援する目的で交付されるものですが、この目的が試されるのはこれからだということを実感した次第です。是非とも本補助金交付された団体は補助金交付終了後もご苦労はあるでしょうが、継続的活動を期待します。二つ目は、本事業は3年間継続して申請・交付できるにもかかわらず、自己資金の調達が難しいことから2年目もしくは3年目の申請を控える事例がいくつか見られたことです。このことは大変残念なことであり、本補助金制度を今後も継続的に推進していく上では検討すべき課題であろうことを申し添えておきます。



成果報告会における審査委員講評の様子

## 4 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	民間レベルの日中友好活動基礎作り	403,674	100,000
	パフォーマンスママ「レインボーズ」	135,611	90,000
	発達障がいの子どもたちを地域で支援・育てる	99,441	99,000
	紙芝居普及活動	198,144	100,000
	脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	230,952	100,000
	音楽療法体験ワーク & 音楽療法講座	166,518	100,000
	計	1,234,340	589,000
事業実施部門	八王子-ケムニッツ 日独交流演奏会	5,805,155	1,000,000
	親子ふれあいキャンプ2008	1,930,157	965,000
	市民参加型 援農活動による農業活性化-	521,139	210,000
	かんたん洋裁 易しい優しい洋裁仲間	764,179	354,000
	子育てサポーターの街にしよう! 「子育てしやすい街・八王子」	1,103,481	550,000
	パン作りで心もからだもリフレッシュ	230,054	100,000
	子どもの虐待防止のための事業	80,562	40,000
	知って得する高尾駅周辺情報「高尾界限」出版本	2,010,000	1,000,000
	女性のための市民活動スタート応援事業	555,084	261,000
	みんなで作る子育てマップ	1,736,121	868,000
	こころのびのびコミュニケーション	689,906	344,000
	八王子学の体系化と八王子検定の仕組みづくり	1,830,250	800,000
	デイジー図書作製	260,460	82,000
	読書のまち八王子を活性化する学校図書館	99,852	33,000
	八王子大江戸舞祭2008	1,025,699	333,000
	夢あるまちづくり	856,827	252,000
	外国人のデジタルデバイド解消のためのパソコン相談会・学習会	1,244,643	600,000
	八王子周辺花めぐりマップ	750,000	250,000
	ふるさとの食を拓く	561,054	128,000
	八王子子ども祭り	1,242,209	320,000
高齢者の生きがいつくりと子ども支援、住みよい町づくり	4,641,619	480,000	
計	27,938,451	8,970,000	
合計	29,172,791	9,559,000	

補助対象事業費は、事業費と額が異なる場合があります。

## 5 事業成果報告

(1) 民間レベルの日中友好活動基礎作り	6
(2) パフォーマンスママ「レインボーズ」	8
(3) 発達障がい子どもたちを地域で支援・育てる	10
(4) 紙芝居普及活動	12
(5) 脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	14
(6) 音楽療法体験ワーク&音楽療法講座	16
(7) 八王子-ケムニッツ 日独交流演奏会	18
(8) 親子ふれあいキャンプ2008	20
(9) 市民参加型 援農活動による農業活性化	22
(10) かんたん洋裁 易しい優しい洋裁仲間	24
(11) 子育てサポーターの街にしよう! 「子育てしやすい街・八王子」	26
(12) パン作りで心もからだもリフレッシュ	28
(13) 子どもの虐待防止のための事業	30
(14) 知って得する高尾駅周辺情報「高尾界隈」出版本	32
(15) 女性のための市民活動スタート応援事業	34
(16) みんなで作る子育てマップ	36
(17) こころのびのびコミュニケーション	38
(18) 八王子学の体系化と八王子検定の仕組みづくり	40
(19) デイジー図書作製	42
(20) 読書のまち八王子を活性化する学校図書館	44
(21) 八王子大江戸舞祭2008	46
(22) 夢あるまちづくり	48
(23) 外国人のデジタルデバイド解消のためのパソコン相談会・学習会	50
(24) 八王子周辺花めぐりマップ	52
(25) ふるさとの食を拓く	54
(26) 八王子子ども祭り	56
(27) 高齢者の生きがいつくりと子ども支援、住みよい町づくり	58

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	民間レベルの日中友好活動基礎作り		
団体名	八王子市日本中国友好協会		
事業費	403,674円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

目的  
日本、中国の市民間レベルの友好活動を活性化させるため、八王子市民、在留中国人、中国人留学生への各種講習会、交流会を開催し、協会を周知するための広報活動を行う。

内容  
八王子市民の方々へ、本会の活動を通じて中国料理会、太極拳、中国語の講習会等を企画、実施し中国文化の認識を深めていただく。在留中国人、留学生の方々へ、日本料理会、留学生応援会、等を企画実施し交流を深める。広報活動として会報誌を発行する、また、各種八王子市の行事に積極的に参加して八王子市民に本会の活動を周知する。

事業の活動実績	<p>4月～6月(12回) 中国語講座(初歩日常会話) クリエイトホール</p> <p>4月13日 中国映画鑑賞会、上映「生きる」 クリエイトホール</p> <p>4月17日 中国功夫茶講習会 大塚講師 晶山茶葉店</p> <p>5月11日 たのしい中国語歌の会</p> <p>6月15日 中国人奥様向け日本料理教室 クリエイトホール</p> <p>7月13日 中国映画鑑賞会、上映「十面埋伏」クリエイトホール</p> <p>8月03日 中国上海料理教室 クリエイトホール</p> <p>9月～10月(6回) 太極拳講習会 八王子労政会館</p> <p>10月05日中国残留孤児を応援する交流会 クリエイトホール</p> <p>10月～12月(12回) 中国語講座(初歩日常会話) クリエイトホール</p> <p>10月18日 生涯学習フェスティバル参加 クリエイトホール</p> <p>12月27・28日八王子市学園都市文化課主催の中国泰安市写真展に会員(2名)の二胡演奏協力</p> <p>1月25日 春節中国料理交流会 クリエイトホール</p> <p>また、団体紹介チラシを作成し、講習会に参加された方やイベント来場者へ配布した。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>1 中国文化の紹介の事業</p> <p>①中国語講座（4月・10月2回開講） 受講者延べ51名</p> <p>②太極拳講習会 受講者8名</p> <p>③中国映画上映会2回開催 延べ80名参加</p> <p>中国への企業進出で中国語を必要とする人、中国との文化交流の進展に伴い定年退職後の人や主婦の人等の受講が多くありました。健康志向の人に太極拳の人気も高いものがあります。映画上映会では、予定より多くの人に鑑賞していただきました。</p>
	<p>2 中国料理・中国茶・日本料理・を通しての交流会（八王子市民と在留中国人との交流）</p> <p>①中国功茶講習会 参加者16名</p> <p>②中国人奥様向け日本料理教室 参加者25名（中国人16名）</p> <p>③中国上海料理教室 参加者25名（中国人15名）</p> <p>④春節中国料理交流会 参加者23名（残留孤児の方2名）</p> <p>中国茶、日本料理、中国料理とバラエティにとんだ交流会を企画できました。調理の作業をすることにより和やかな雰囲気が醸成され、楽しい交流が図れました。</p> <p>3 中国残留孤児を応援する交流会 ・参加者25名（残留孤児の方17名）</p> <p>八王子在住の残留孤児の方たちを励ますことを目的に開催した。中国で遅く過ごされてきた悲喜こもごものお話を聞き参加者も感動いたしました。また餃子を作り食べながらの交流、支援品の贈呈などがあり、残留孤児の皆さんにも喜んでいただいた交流会でした。</p> <p>5 八王子市の行事参加</p> <p>① 生涯学習フェスティバルに参加し八王子市日中友好協会をPR 来場者約150名</p> <p>② 学園都市文化課主催中国泰安写真展に会員2名二胡の演奏協力</p> <p>これらの活動を通じて頻繁な会のPR活動を行うことにより、イベントの参加者も増え、本会の活動に興味を持ってきている人の意見を聞くことができるようになりました。今後も、市民の意見を取り入れながら協会の活動の充実を図っていきたくと考えています。</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ③ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>日中友好の視点からよりピーズアクセサリー作り講習会を見直し、中国料理講習会や中国残留孤児応援会などを開催した。また、消耗品等は購入方法を工夫することにより、当初見込みより少ない支出とすることができた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>当初事業の他にも、2008年5月12日発生の中国四川省震災に際し震災支援募金を呼びかける。また、日中青少年交流年に当たり、八日中の会員宅で中国大学生5名の1日ホームステイを受け入れるなど、会として日中友好に寄与するなど多くの活動を展開した。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>市民間レベルの日中友好を念頭に、中国文化の紹介の事業や中国語講座、太極拳講座、中国料理、日本料理を通して交流会等を継続すると共に新たな取り組みも模索してゆきたい。</p> <p>市民友好交流としての訪中、来日支援の活動を継続させてゆきたい。</p>
---------	---

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	パフォーマンスママ「レインボーズ」		
団体名	パフォーマンスママ「レインボーズ」		
事業費	135,611円	補助金額	90,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>子育て中など普通の主婦の集団が、ボランティアパフォーマンスを行う事により、表現する喜び楽しさを伝え、「人と人のふれあい」「地域のふれあい」を大事にし、大人も子どももすべての人が笑顔になれる活動をする事。</p>
	<p>内容</p> <p>オリジナル劇を中心にマジック・ペープサート・表現遊び・リズム遊び・手遊びなどを取り入れ観ている人も一緒に参加してもらえりような、パフォーマンスを行っています。</p>

事業の活動実績	<p>公演</p> <p>「桃太郎と魔法の笛」というオリジナル劇が中心の30～40分ぐらいの公演</p>
	6月23日 中野保育園
	7月6日 加住市民センター(七夕まつり)
	8月22日 石川家庭支援センター
	9月25日 みなみの保育園
	10月16日 わらべうつき台保育園
	10月20日 わらべ保育園
	10月23日 石川保育園
	11月2日 陵南公園(八王子こどもまつり)
	11月10日 南大谷児童館
	11月20日 元八王子児童館
	12月24日 富士見台保育園
	2月7日 一中(*ウィンターフェスティバルの休憩中にPR)
	2月20日 由木児童館
	3月26日 茜の里(デイサービス)



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>「笑顔とパワーを届けたい」とはじめた一年前には4公演だったのが、今年度は一度公演した所からの依頼や紹介を頂き、13公演行う事ができました。</p> <p>アンケートには、「同じ子育て中の主婦たちときいて驚いた。自分たちも楽しんでいいんだ」「おもいきり笑って元気になった。」とか、保育士の方からも「子供たちと一緒に、私たちも楽しませてもらいました。」など温かいお言葉をいただきました。</p> <p>ほとんどが子どもたち向けの公演だったのですが、最後のデイサービスでの公演も涙を流していた方もいるほど喜んでいただけて、『大人も子どもも笑顔になる活動がしたい』という思いが通じた気がしました。</p> <p>私たちは活動する中で、大人でも「何かに一生懸命になること」「自信を持つこと」で素晴らしい仲間と出会う事ができ、成長できることを感じました。</p> <p>いろんな人と出会い、人と人が触れ合う事、自分の気持ちを表現する事で、コミュニケーションがとりやすくなり、心が豊かになると思います。</p> <p>私たちの活動は、形には残らないけど心に残る『出会い・笑顔・わくわく』をプレゼントできたと思います。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 良い作品にするために音響にもこだわったので、音響代が以外とかかった。
	その他、評価すべき点等	アンケートを頂き、改善するところは迅速に行い、見てくれている人の温かい笑顔と声援で、公演するごとに良い作品にすることができたこと。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>新作も加えて、 保育園、児童館を中心にデイサービスや障害者施設などでも公演を行う予定です。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	発達障がいの子供たちを地域で支援・育てる		
団体名	かたつむりの会		99,000
事業費	99,441 円	補助金額	<del>99,441</del> <del>100,000</del> 円

事業の目的・内容	目的 発達障がいの児童は普通級に在籍している児童全体の約6.3%とされている。外見的・表面的に分かりづらい障がいの理解を周りの保護者や地域の人に理解してもらいたいという思い。
	内容 キラバン隊を発足し、紙芝居や体験型ワークショップを公演として地域の中で伝えていく。

事業の活動実績	(5/16・6/20・7/11・30・31 9/2・5 9/18・19 10/9・23 以上紙芝居制作と練習。	キラバン 公演活動
	9/9・12 柚木武蔵野幼稚園 保護者向け (120名) 10/2 武蔵野幼稚園 園児向け (90名) 11/28 長池ネイチャーセンターでの公演 (対象事業) 1/9 明星大学 教育学専攻の学生向け (20名) 3/5 柚木武蔵野幼稚園にて 一般向け (20名)	



長池ネイチャーセンターでの公演

事業の成果・効果	<p>1/28の長池村チャーターでの公演では40名の参加者があった。その他対象事業ではないが、幼稚園や大学などでの公演を合わせると、大人160名、子ども90名 計250名がこのキャラバンの紙芝居や疑似体験ワークショップに参加したことになる。</p> <p>参加者アンケートの中には「特別な存在の障がいとして扱っていたものが身近かになった」「自分の子だけでなく周りのお子さんと共に音つ」というような声も聴かれはじめた。</p> <p>また、当事者を持つ親だけではなく、共感した周りの保護者も数名、キャラバン隊として加入し、意識の変化がこのような部分にもあらわれた。</p> <p>パンフレットも500部作り、キャラバン隊の存在、発達障がいの認知度・理解も徐々に地域の中で高まっていると思われる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった <input type="radio"/> 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった <input type="radio"/> 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ <input type="radio"/> 2 多少の変更があった <input type="radio"/> 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 2つの事業のうち、講演会事業が教育委員会との共催となったため、キャラバン隊の公演のみが対象事業となった。
	その他、評価すべき点等	対象としてキャラバン隊の公演は1度であったが、その後の様々な分野からの問合せがあり、次年度への注目をしている。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

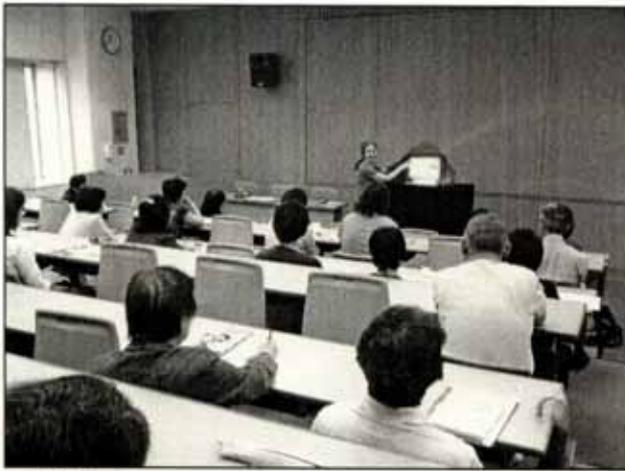
今後の事業展開	<p>キャラバン隊への社会的な期待は役割りも大きいため、次年度にかけて公演の依頼が相次いでいる状況。よってかたつむりの会からキャラバン隊を独立した団体とし、かたつむりの会自体は、又更に、別な分野の発達障がいも理解・啓蒙する分野を探索するところである。 (講演会、療育機関への出張親の会など)</p>
---------	---

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	紙芝居普及活動		
団体名	わくわく紙芝居サークル		
事業費	198,144円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>日本独自の文化である紙芝居の魅力を広く伝え、演じ手と聞き手がお話の世界を共有することによりコミュニケーションを図る。現代社会においてコミュニケーション力の低下が問題視されているので、日本独自の文化である紙芝居を通して、高齢者の方や子ども達、一般市民の方々と心の交流を図っていききたい。しかし、現在の会員数では活動範囲が狭く、知名度にかけるため公演場所も限られてしまう。そこで講座案内チラシ等を広く配布することにより、会の認知度を高め、初心者に向けた講習会を行うことで今まで紙芝居に触れていなかった方々に興味を持ってもらい、この活動に参加していただくことにより市内全域に活動を広げていきたい。</p>
	<p>内容</p> <p>会の存在と活動内容を広く一般の方に知っていただくために、下記的手段で広報活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 定期的な公演（年間計画記載場所）及び子どもの紙芝居実演指導等を行う。</li> <li>* 出張公演（各種祭り・病院等）－自主的に参加し、又依頼に応じて行う。（不定期）</li> <li>* 初心者向け紙芝居連続講座の開催－専門知識を持った講師の講習により紙芝居の特性や魅力を伝え、紙芝居に対する関心、理解を深める。</li> <li>* 経験者向け紙芝居講座の開催－初級者向け連続講座参加者と新たな参加者のうち、更に技術を高めたり実践に生かすことを希望される方のために継続して開催し、より深く学びあうと共に公演活動に対する興味を深める。</li> <li>* 団体紹介リーフレットを作成し、初心者講座に向けてチラシと共に広く配布する。広報にも載せて広くPR活動をする。</li> </ul>

事業の活動実績	定期公演	子安保育園	子安学童	健康クラブ北野	ローズガーデン	夢きっず	くりちゃん広場	
	年48回	H20.4.23	H20.4.25	H20.4.26	(デイケアセンター)	H20.4.30		
		H20.5.27	H20.5.27	H20.5.30	H20.5.27	-		
		H20.6.24	H20.6.24	H20.6.28	-	H20.6.5		
		H20.7.29	H20.7.22	H20.7.25	H20.7.3			
		H20.8.26	H20.8.21	-	-	H20.8.30		
		H20.9.30	H20.9.30	H20.9.26	H20.9.3	-		
		H20.10.28	H20.10.29	H20.10.29	-	H20.10.28		
		H20.11.25	H20.11.25	H20.11.27	H20.11.5	-		
		H20.12.9	H20.12.9	H20.12.27	-	H20.12.17		
		H21.1.27	H21.1.27		H21.1.27	-		H21.1.9
	H21.2.24	H21.2.24	H21.2.24	-	H21.2.25		-	
	H21.3.10	H21.3.26	H21.3.6	H21.3.10	-		H21.3.6	
出張公演	ひだまりの家	横山南市民センター	相原祭り	生涯学習センター	子ども祭り	昭和記念公園		
年10回	H20.5.15	H20.8.28	H20.10.12	H20.10.23	H20.11.2	H20.11.21		
	いちようまつり	横山中学校	南多摩高校	拓真高校				
	H20.11.23	H20.12.1	H20.12.17	H21.1.29				
初心者向け連続講座	場所	H20.6.16	34人	昨年度参加者15人新規35人	チラシ2300枚			
	クワイエットホール	H20.6.26	32人	延べ50人 入会6人				
		H20.7.2	38人					
経験者向け継続講座	場所	H20.10.31	33人	連続講座参加者16人新規13人 入会	チラシ800枚			
	クワイエットホール	H21.2.7	37人	新規16人 入会2人	チラシ2000枚			
広報活動	リーフレット3000部作成	約		155カ所配布				
	講座案内チラシ 5100枚作成	(内訳)		学童保育所 10枚*67ヶ所 児童館 10枚*12ヶ所 市民センター他 20枚*66ヶ所 保育園・子ども劇場他				
	近隣紙芝居団体へ8ヶ所 講座案内葉書5/6送付							
	6/5アサヒタウンズ タウン情報掲載							
	協働推進課・支援センターHP掲載							
	6/11八王子テレビ「はちっこカフェ」にて活動紹介							
	7/14`25市役所2Fロビー展示 チラシ50枚・リーフレット50枚							
	10/1広報に10/31講座掲載							
	1/15広報に2/7講座掲載							



《連続講座にて講師による実技指導の様子》



《横山南市民センターにて出張公演》

事業の成果・効果	* 定期公演において、前年度からの5ヶ所に加え1ヶ所増えたことにより活動の基盤が広がった。
	* 初心者向け講座では広報活動の成果により、3回講座全体で50人(会員含む)が参加してくださった。
	* 八王子テレメディアによる「はちっこカフェ」にて活動の様子が紹介され、メディアの反響もあり全問い合わせ件数は78件となった。
	内訳:チラシ(市役所・クエイト各7名市民センター他14名) 紹介19名 広報11名 八王子TV3名 他
	* 参加者がとても喜んでくださり、口コミで更に広がって沢山の方に紙芝居に興味を持っていただくことができた。
* 新規会員として12人が登録をしてくださり、会員数が27人に増えた。	

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	広報活動を広く行った事や、「市民企画事業補助金助成事業」ということで安心して講座に沢山の方が参加してくださった。その中から継続して講座に参加して下さる方や友達等に紹介して下さる方もあり、紙芝居の輪を益々広げていくことができた。活動内容もメディアを通して紹介していただき、新規公演場所も1ヶ所増えた。H20年度の結果として12人が会員登録をしてくださったことは大きな成果となった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	平成21年度は主に会員に向けて定期的に経験者向け講座を開き、紙芝居への理解を深めると共に定期公演での実演に向けて実践的な練習もしていく。人数が増えた分、会の運営方法も今後よりよい形に考えていく必要がある。又、年に一回は初心者向けの講座を行い、広報活動を積極的に行うことによって新規参加者を募る。新規に登録して下さった方で定期公演にも参加して下さる方には、少しずつ慣れていただいて活動の場を広げていく。 定期公演の場所も4月当初より1カ所増え、今後も継続していく予定。 公演依頼も数件あったので、可能な範囲で応じて、会の知名度を上げると共に、活動の幅を広げていく。
---------	---

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」		
団体名	ヒーリングアート・パステル打左		
事業費	230,952 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 認知症の予防と改善、ディケアスタッフ啓発、不登校、ひきこもり、育児不安等への心療、幼児児童の創造性開発、コミュニケーション力向上等市民のQOLの向上に資すること
	内容 アート制作を通じてのアートセラピーの講座を、一般市民向けに「生き生きアート」として行う(あかひのみきぽ)の幼児と子育て中の母親のメンタルサポートとしてのアート講座、軽度発達障がいのある青少年向けのアート講座を行い、作品展示、広報活動も併せて行う。市民活動協議会を中心として諸団体、ディケア諸施設にも活動の広報・協力体制を築く。

事業の活動実績	<p>1) 広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間22回の講座案内、ちらし、ポスター作成・配布・発送/タウン紙・市の広報への掲載、クイートホルをはじめとする市民会館・センター、市役所、図書館、支援センター、スポーツ等、市民の目につく所に重点的にポスター、ちらしを置き、来講者の増加をみた。</li> </ul> <p>2) 講座活動の充実と作品展示の拡充・絵(はがき)作成(マイカード化した作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間22回の講座を通して、固定メンバーが増え、且つ定着し大変楽しんでアート制作に取り組んでもらえ、1回のつながりが大きく形成された。</li> <li>安全ネットアカデミッククラブ、あかひのみきぽの皆さんにも、よりに参加していただき、メンタルサポートとしてのアート制作のチャンスが整ってきた。複数団体の作品展示を行った。(生涯学習センターまつり)</li> </ul> <p>3) 高齢者施設との連携の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やなぎの里、丘のディケアセンターその他諸施設への広報ポスター活動及び、お祭りへの参加、生涯学習センターまつりの作品展示等、大変反応・反響が大きかった。</li> </ul>
---------	---



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の拡充により、来講者数の増加、デイケア施設からのスタッフ受講、デイケア諸施設との連携、タウン紙記者からの取材と掲載等、認知度を高める効果がみられた。</li> <li>・年間22回の講座、その他の諸講座の実施が低滞りなく実施でき、受講者の皆さんからの信頼度が増し、固定メンバーの増加や、諸活動へのサポートをいただける機会が多くなった。</li> <li>・生涯学習センターまつりの作品展示に多くの来場者を迎え、特に高齢者施設からは、10人以上の参観をいただき、施設関係者も多数来場され、反響が大きかった。</li> <li>・作品のマイカード化(絵葉書化)を、きよピーの市民活動家の方からご協力いただき、試行段階ではあるが、生涯学習センターまつりでは40枚近く販売でき、好評をいただいた。</li> <li>・いちよ祭りでは、高齢者施設の作品展示、ワークショップを行い、多くの高齢者施設の方からの反響があり、デイケアスタッフのアート講座受講者も増加した。</li> <li>・デイケアスタッフの養成等、芸術療法を取り入れる要望書を市長宛に提出した。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	・諸講座を通して参加者が「癒やされた、元気が出た」との声をいただき、脳活性化につながる体操(もしも)を加えて講座内容の充実が図れたこと。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 団体のパンフレットを作成したい。—認知度を高める。</li> <li>2) 八王子市に芸術療法を採り入れるよう、市にはばきかける。</li> <li>3) 「医療と介護の現場に創作アートを」をモットーに各所でアートスタッフ実技研修を行う。</li> <li>4) デイケア諸施設と連携し、アート理解の講演会・ワークショップを行う。</li> </ol>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	音楽療法体験7-7 & 音楽療法講座				
団体名	豆の木音楽療法研究所				
事業費	166,518	円	補助金額	100,000	円

事業の目的・内容	目的	77の方々に音楽療法の活動と体験に参加いただき 理解なくしては参加しやないもの。参加できるものとしての 認識が広がることを期待している。
	内容	体験的理解のためのワークショップと対象者別に行う。 理解を深めたい方のために、音楽療法の理論や実践について 講座形式で開催する。

事業の活動実績	5月22日	幼児向け音楽療法ワークショップ	参加者	6名
	6月22日	高齢者向け音楽療法ワークショップ	参加者	10名
	7月25日	障害児向け音楽療法ワークショップ	参加者	8名
	8月1日	音楽療法講座	第1回	参加者 13名
	8月4日	"	第2回	参加者 10名
	8月8日	"	第3回	参加者 8名
	8月22日	児童向け音楽療法ワークショップ		11名
	8月22日	障害児向け音楽療法ワークショップ		7名
	11月5日	幼児向け音楽療法ワークショップ		7名
	11月23日	高齢者向け音楽療法ワークショップ		11名
	1月18日	"		8名
	3月4日	幼児向け音楽療法ワークショップ		4名



事業の成果・効果	<p>昨年度に引き続き同じ形式の参加者が情報を収集しやすく、低参加費で設定することができた。広報や通信の情報を検索し、問い合わせに3ケースも増えてきている。</p> <p>また、今年度は講座も実施することができ、当研究所で実践している音楽療法について、少なからず説明し、ご理解いただけたのではないかと考えている。</p> <p>時代の背景から考えれば、生活の質を高める=QOLを向上させることにはおなじみ、自ら問われるような状況も出てくるが、一方で精神・社会的安定をはかる上で、その重要性も理解され受け入れられるようになってきた。</p> <p>しかし、簡単に普及していくものではない。また、また地道に広げていく必要性と、その難しさも実感した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3, 4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3, 4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2, 3と答えた場合のみ) 郵送・コピー代については、今年度は郵便をあまり利用せず、スワッフが持参面配していたため少なくなりました。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>研究所の内部事業として、普及活動も持続することが難しいため、企画・広報に関する新しい団体を設立していく方向へと展開することになった。</p>
---------	---

## 平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ケムニッツ 日独交流演奏会		
団体名	八王子フィルハーモニー合唱団		
事業費	5,805,155円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 過去10年にわたり4回の交流演奏会をしてきた、ドイツ・ザクセン州シンフォニック・オーケストラケムニッツを3回目の招聘をして交流演奏会を開催する。 ドイツの高い音楽性を交流によって八王子に団員が吸収しより高い演奏となり市民に感動を与える演奏会を開催する
	内容 8月25日に来日以来合同演奏の練習に励み、8月31日演奏会を開催した。 音楽以外にも交流の場を持ち、団員相互の交流、市民グループによる茶席招待を受けて日本文化を教え、市長表敬、両市長の親書交換し、お互いの文化も理解しあった。

事業の活動実績	<p>8月25日に来日から1週間、八王子セミナーハウスに宿泊、前半は個々に練習をして、八王子の団員とも交流し、後半は合同練習に励んだ。</p> <p>今回の事業にあたり、当初の計画通り実行委員会を組織し事業の運営にあたった。八王子フィルハーモニー合唱団が中心となり、他には八王子フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル・アマティスタMAなどの団体が参加した。</p> <p>8月31日に八王子市民会館に約1500名の市民が入場し、視覚障害者40名、盲導犬、車椅子障害者などの参加を見た。</p> <p>演奏は、両ドイツオーケストラ、八王子オーケストラ、合唱、ソリストと指揮者の指導により素晴らしい演奏となった。市民のなじみ深い曲目、たとえば「椿姫」「ツウランドット」などのオペラの名曲の抜粋、新世界など、オケ、合唱、ソリストの三者一体の演奏は客席に感動を与えた。ステージと客席の一体感が非常に満足のゆく演奏会であった。</p> <p>ケムニッツ・オケのメンバーも4回の交流によって非常に日本を理解し、八王子のメンバーとも打ち解け、日独交流がうまく行くことができた。</p> <p>費用もたくさん必要であったが、市補助金、後援会からの後援費、チケット売上等により十分に運用することが出来た。</p>
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5回目の交流演奏会なので息の合った演奏により高い音楽性を市民の提供することができた。</li> <li>・市補助金を得ることにより、経済的は勿論宣伝効果も大であった。</li> <li>・若い団員たちがドイツの良い部分を吸収することができた。</li> <li>・市民グループによる茶席の招待により日本文化を教えることが出来た。</li> <li>・市長表敬に両市長の親書を交換し、理解しあえた。</li> <li>・民間の音楽での国際交流が長年にわたり続けることが出来たことに意義があると思う。</li> <li>・演奏は今までにないくらいの最高のもので、会場の市民に大きな感動を与えたことは大変満足している。</li> <li>・今回で終了予定であったが、産経新聞社の後援を得ることになり、2011年の新市民会館の開館に開館記念演奏会として演奏会を開催、ドイツ・ケムニッツを4回目の招聘をする予定です。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	○1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	すばらしい高い音楽性の演奏会であったことに満足している

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>10年5回の交流を予定して終了の予定であったが産経新聞社の後援を得ることになり、2011年に又招聘を予定することになった。</p> <p>新聞社の持つメリットをうまく取り入れて益々市民に音楽性の高い文化を提供したいと思う</p> <p>ドイツ・八王子の関係もより密接なものになり、団員個人同士の交流も盛んになると思う。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子ふれあいキャンプ2008		
団体名	はちおうじユースネットサービス		
事業費	1,930,157円	補助金額	965,000円

事業の目的・内容	<目的> 児童とその保護者が他の参加者たちと一緒に、自然の雄大さや、協力しあうことの大切さ、あるいは、それぞれの良いところを見出しながら、人と人とのふれあいを体験することにより、よりよい親子関係を構築するための一助としていただくことを目標とする。
	<内容> 小学校1年生から6年生までの児童とその保護者を対象に40組の親子を募集し、長野県にある八王子市姫木平自然の家を宿泊場所として、2泊3日のキャンプを実施した。 主なプログラムとしては、飯ごう炊飯、体験プログラム(うどん作り・ロープ遊び・エコクラフト)、キャンプファイヤー、車山付近の散策、あるいは白樺湖畔での親子のふれあいタイムを実施した。

事業の活動実績	▼第1日目…8月9日(土) 八王子駅南口および南大沢駅に集合し、借り上げバスにて八王子市姫木平自然の家へ移動。到着後昼食(宿舎の弁当)。その後宿舎付近で交流を目的としたローテーションゲームを実施。夕食は、バーベキューと飯ごう炊飯の自炊。
	▼第2日目…8月10日(日) 午前中は、親子で体験プログラムの実施(うどん作り・ロープ遊び・エコクラフト)。午後からは、キャンプファイヤーの準備と実施。親子別々の班でのスタンプを行ったり、ゲームやソングで大いに盛り上がった。
	▼第3日目…8月11日(月) 霧が峰より車山山頂を目指したハイキングや車山付近での花の観察やスケッチを行いました。正午過ぎからは、白樺湖畔での親子ごとの自由散策時間(親子のふれあいタイム)を実施。午後2時30分に現地を出発し、午後6時過ぎに八王子駅南口に到着、解散。(その後南大沢駅にて解散)
	募集40組のところ37組応募があったが、最終的には29組(親29名・子38名)だった。スタッフは講師、現地スタッフ、サポートを含め13名だった。(総勢80名) 参加者・スタッフの感想文集と写真CDの作成配布を行う。感想文集については、教育長、生涯学習総務課、子ども家庭部などの関係機関にも配布。また、参加者・スタッフのアンケートも実施。アンケート結果を基に次年度へ向けて検討を重ねて行く。

キャンプファイヤー



体験プログラム(ロープ遊び)



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>対象学年を1年生からとしたため、一日目の前半はかなり行動においてもばらばらな対応が目立ち、どうなるかと思案した。班の構成が親子別班であり、異年齢班であったこともあるが、その後は少しずつ協力し合う体制、大きい子どもが小さい子どもの面倒を見る、親も自分の子ども以外の他人の子どもの面倒を見る、などの関わりを持つことなどもできた。当初の事業目的である、「異世代との交流を通しての自主性・協調性を育む」ということも達成することができたと考えている。このキャンプに参加した子どもたちが、人と人とのふれあいの大切さを感じ取り、他の人たちと協力し合いながら色々なことに取り組んでいくことの楽しさを感じたと思われる。また、親子関係がより親密になったと考えられる。</p> <p>▼参加者感想文より</p> <p>○子どもたちの真っ直ぐなパワーに元気づけられ、違った個性のたくましさに勇気付けられた。</p> <p>○母親と子どものつながりはいつまでも続くというが、父親とのつながりは細くなってしまいうらしい。一生の中、親子で行動できる短い期間、娘に父親との思い出をたくさん作ってあげよう。</p> <p>○みなさん、楽しい思い出をありがとう。是非次回も参加したいなあと思っています。でも来年はママの出番かな？</p> <p>○今回のキャンプに参加して思ったのは「こんなにすばらしいキャンプを経験しないのはもったいない！」ということでした。再度経験するのも良いですが、ぜひ参加したことのない方々にもお勧めしたいです。さっそくクラスで宣伝したいと思います！</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 初めての取り組みのため過不足が出た。参加者のキャンセルで収入減。(予算は40組で計上したが実際は29組)また、感想文集・写真CDなどが当初予算では計上していなかった。詳細は決算書どおり。
	その他、評価すべき点等	感想文集やアンケートにもあるように、参加者からの事業継続の声が多かった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>このキャンプに参加した参加者が、指導者となり、自然の大切さや人と人とのふれあいを大切にすることを継承していくように事業を展開する。</p>
---------	--

## 平成 20 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	市民参加型 援農活動による農業活性化 Ⅱ		
団体名	特定非営利活動法人 すずしろ 22		
事業費	521,139 円	補助金額	210,000 円

事業の目的・内容	目的	農業活性化に寄与する。 活性化のため 3つの項目・分野で活動する。 (1) 有償援農ボランティア 「人材 - 農家需要 と 市民意欲のマッチング」 (2) 休耕農地の活用 「農地 - 食と 潤と 未来を 保全」 (3) 地産地消 「食材 - 三里四方 八王子産の旬鮮野菜を食卓へ」
	内容	活性化のための3項目のアクションアイテム  (1) 農家の人材需要に対して 市民会員を紹介 (2) ボランティア先農家の休耕地への耕作応援 (3) ボランティア先農家の野菜を 学校給食・一般市民に販売

事業の活動実績	<p>(1)市民会員の継続的募集</p> <p>① 市民活動協議会のチャンネルなどで 会の PR と会員募集</p> <p>② 登録者 135 名</p> <p>(2)会員への農耕技術教育</p> <p>① 講習会の開催 3回</p> <p>② 農園での共同耕作作業を通じての技術の体得・伝授 15回 / 年</p> <p>(3)農家への応援作業</p> <p>① 農家の拡大 15軒</p> <p>② 応援時間実績 3600時間 / 年</p> <p>(4)休耕農地の活用</p> <p>① 新たに2か所を追加 「まず草に勝つ」 から 「根菜類の栽培へ」</p> <p>② 応援農地 + 2反</p> <p>(5)野菜販売</p> <p>① 有志会員への販売委託方式(アウトソーシング)で 運用 4グループを編成</p> <p>② そのうち 学校給食は5校と契約し納品</p> <p>③ 外部委託の4グループ年間総販売額 300万円ジャスト</p>
---------	---



遊休農地を応援し ジャガイモ栽培



リンゴ栽培に協力 作業前の講習会

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>おかげ様で 農家の方々をはじめとした関係者のご配慮・ご厚意をいただき ほぼ計画どおりの成果にたどりつくことができたものと 自己評価し 感謝している。活動の三本柱 それぞれの成果は 以下のとおり。</p> <p>(1) 有償援農ボランティア 15軒の農家に対して 延べ応援時間は 昨年比 10%増の3600時間となった。 [パート]: [すずしろ22の有償ボランティア]: [無償ボランティア] の3者がそれぞれの特徴を生かして 棲み分けがすすんできていることを実感している。当会の特徴を理解いただいて 農家会員が漸増傾向にあることに感謝している。</p> <p>(2) 休耕農地の活用 人手不足のため 草が繁茂している農地に対して 無償ボランティア活動により 農家を応援させていただく方式をとり始めた。 依頼面積は まだまだ少ないものの 「周囲環境・景観に与える影響への対策」という面からも 農家と 休耕地の周囲住民から 好感を持って迎えられつつある。</p> <p>(3) 地産地消 生産者の顔が見え かつ 安全新鮮な野菜を消費者におとどけし 合わせ 農家の売上高向上に寄与することを目指して 販売活動にとりくんできた。地産地消のシンボリックな事例である「学校給食」では 幸いに栄養士さんの理解をいただけ 5校と契約を結ぶことができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3, 4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3, 4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2, 3と答えた場合のみ)</p> <p>活動の進展に合わせて 経費の配分面で一部変動が必要となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>活動の3本柱 それぞれの実績数値が漸増傾向にあることは 農家と参加市民からの賛同が 確実にいただけつつあることと 解釈し はげみとしている。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>三本柱 それぞれの 数値の増加とその作業品質の向上に努めていきたい。 特に下記2項には より注力していきたい。</p> <p>(1) 「学校給食」で 農家と 児童のお役に立つこと (2) 休耕地への取り組みの方法を工夫し 食糧生産と環境保全の両面のお役に立つこと</p>
---------	--

## 平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	かんたん洋裁 易しい優しい洋裁仲間		
団体名	特定営利活動法人 八王子服飾センター		
事業費	264,179	円	補助金額 354,000円

事業の目的・内容	<p>目的 ジャージー洋裁は、細かい手順が少なく、初心者の方でも簡単で、縫いやすく取り組みやすいものです。また、特別な型紙を使用することにより、体型に合った着心地の良い服が作れます。シルバー世代の方々には、洋裁の経験のある方が大勢いらっしゃいます。手先を動かすことは、老化の防止にもなり、また、同世代の方が集まることにより、交流が生まれて、楽しく過ごすことができると思います。伝統服飾産業の街・八王子に住むお年寄りがいきいきとおしゃれを楽しんでいただきたいと思います。</p>
	<p>内容 シルバー世代を対象に、ジャージー生地（ニット生地）を用いて体型に合わせたおしゃれな服作りを3コース（各全4回）で行う。</p>

事業の活動実績	<p>10月11月の隔週火曜・水曜・金曜の3コース各全4回で、ジャージー生地を用いてブラウスとパンツを作った。参加者は全部で26名であった。</p>
	<p>第1回目 自己紹介・パンツの裁断・ロックミシンの練習</p>
	<p>第2回目 パンツの縫い方説明・縫製→完成・ブラウスの裁断</p>
	<p>第3回目ブラウスの裁断（続き）・ブラウス縫い方説明・縫製</p>
	<p>第4回目ブラウスの縫製（続き）→完成</p>



事業の成果・効果	<p>講座を受けられた参加者の方々から、とにかく楽しい、初めてでこんなにできるとは思わなかった、もっといろいろなものを作りたいなど、さまざまな感想をいただきました。多くの参加者から、続けて学びたいとの要望があり、12月以降も独自にコースを開設し、現在は、そのうち15名の方々が、続いて学んでおられます(3月31日現在)。皆さんぜひふん上達され、習ったことを復習しながら、何枚もの洋服が完成しました。参加者の方々は、いつも楽しく過ごしておられ、ここで2週間に一度会うことを楽しみにして通ってこられます。本事業のもう一つの大きな柱である仲間作りについても、大変良い効果が得られたと思っています。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	(1) できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	(1) ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	思った以上に参加者の満足度が高く、独自に継続コースを現在に至るまで続けている。継続コースに残った率も思った以上に高かった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>来年度も今年と同様、参加者を募り、より多くの方にジャージ洋裁の良さを知らせていこうと思っています。来年度も今年度のように参加者が継続していけば、活動も運営も安定していくと思います。</p>
---------	---

## 平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育てサポーターの街にしよう！「子育てしやすい街・八王子」		
団体名	保育サポーター はちっ子		
事業費	1,103,481円	補助金額	550,000円

事業の目的・内容	目的 これまで実施してきた子育て支援活動を踏まえ、より多くのニーズに応えるために保育サポーターを養成し、団体の活動の幅を拡げると共に地域にサポーターが増加することで、八王子が子育てのしやすい街になる。
	内容 ・保育サポーター養成講座（託児付き）を2回開催 ・講座受講者を対象に保育施設で実習 ・パースコーディネーター大葉ナナコ氏講演会開催

事業の活動実績	保育サポーター養成講座2回開催 ① 平成20年6月9日～6月30日（内10日間22時間） 参加者27名 託児10名 ② 平成20年10月27日～11月27日（内10日間22時間） 参加者30名 託児13名
	パースコーディネーター大葉ナナコ氏講演会開催 平成20年1月25日 クリエイトホール 参加者140名



事業の成果・効果	<p>●保育サポーター養成講座2回開催                  参加者合計57名の内49名がすべての講義を修了し保育サポーターと認定されることができた。また、修了者49名の内22名が現在地域で活動中(当団体18名、他団体4名)であり、合わせて八王子市ファミリーサポート提供会員に登録した方も多数いる。残りの27名のうち数名は今後、地域活動に参加する意思がある。                  保育サポーターが地域に増えたことで、「子どもをちょっとだけ預けたい」ニーズに対応しやすくなっている。</p> <p>●大葉ナナコ講演会                  新聞やテレビで活躍している著名な方の2時間に渡る講演は多くの方に感動を与えることができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) チラシ印刷の予算を片面印刷のもので計上していた。実際は両面印刷で発注。
	その他、評価すべき点等	目的通りに地域で活動する保育サポーターを増やすことができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

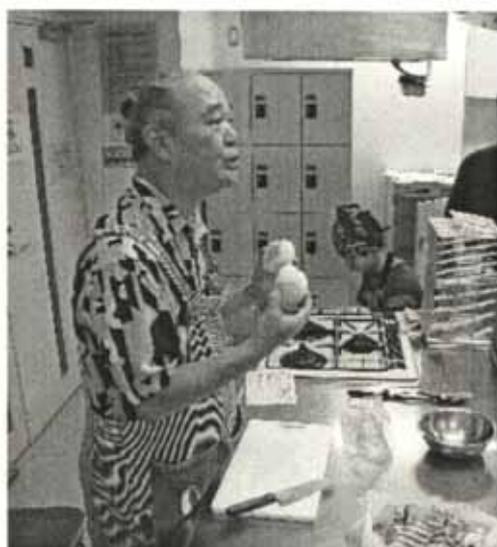
今後の事業展開	<p>今後も、助成金や補助金等を利用しながら保育サポーター養成講座を開催し、地域で活躍するサポーターを増やしていく。そして、子育て中のちょっと困った時などに近所のサポーターが託児をしたり話し相手になったりできる子育てに優しい街づくりを実施していく。</p>
---------	--

## 平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	パン作りで心もからだもリフレッシュ		
団体名	ムッシュ手づくりパンの会		
事業費	230,054円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>精神障害者は社会のなかで理解させて折らず、社会復帰には市民の方々の理解が大切です。また、家にこもりがちな高齢者の方々もまた、社会から取り残されていきます。このような方々に自分の家の近くで、パン作りを体験し、手足・からだを動かし、自ら作ったパンを楽しみながら、多くの人々とのふれあいにより、生きる喜びを知っていただきたいと考えます。</p>
	<p>内容</p> <p>軽い精神障害の方や家にこもりがちな高齢者の方々を対象に身近な市民センターで社会との繋がりを取り戻す一歩として「パン作り」の講習会を行います。</p>

事業の活動実績	2008年6月14日	横山南市民センター	23名	
	6月18日	横山事務所	18名	
	9月11日	クリエイトホール	19名	
	11月6日	クリエイトホール	8名	
	11月20日	クリエイトホール	9名	
	2009年1月20日	クリエイトホール	9名	
	1月27日	横山事務所	5名	
	3月24日	横山南市民センター	9名	
	あんぱんと固焼きパンの講習会を開催しました。(計109名参加)			



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>補助者なしで、講師のみを指導者として、最初の計画の1か所5回を、3か所で計5回とし、さらに8回に増やして、より多くの人に参加していただくことができました。</p> <p>少ない人数ではありましたが、精神障害の方にも参加していただき、交流ができました。また、お年よりの方も楽しく参加していただきました。</p> <p>人と人とのつながりを通して、相互理解の一步となったと思います。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 計画では、1つの市民センターで5回実施する予定であったが、多くの方に参加してもらいたく、3か所で計5回行った。さらに、好評だったので、8回行った。また、ボランティアスタッフの都合がつかず、スタッフの手伝いなく、講師のみで行うこととした。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	21年度も市民企画事業補助金事業として展開する。
---------	--------------------------

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子どもの虐待防止のための事業		
団体名	子どもの虐待防止市民ネットワーク多摩		
事業費	80,562 円	補助金額	40,000 円

事業の目的・内容	目的	孤立している親子の声の受け手にふれあひより、虐待防止を願う市民が共に支援者としての学びを重ね、地域の子ども家庭支援センターへつなげ、子どもの虐待防止活動に貢献する
	内容	人権と命を守ることを願う。電話相談・広場相談を受け、虐待防止のための啓発活動と会員の資質向上の為の研修を重ねる

事業の活動実績	4月	総会
	5月	役員会(講演会概要決定)、多摩地域の児童相談所化子ども家庭支援センター訪問
	6月	日本子ども虐待防止民間ネットワーク全国大会(名古屋)参加
	7月	役員会(講演会詳細案話めり、チラシポスター作成)
	8月	役員会(講演会準備)
	9月	役員会(講演会最終調整)広報関係掲載(添付④) 講演会(添付写真⑧・⑨・⑩)
	10月	役員会(講演会アンケート集計)
	11月	全国電話相談、虐待防止ホットライン(全国共通ナンバー)参加 いっしょよりつり「親子ふれあい広場」参加(添付⑬) 虐待防止月間広報活動(カード・ポケットティッシュ配布)(添付⑮)
	12月	役員会(親子ふれあい広場反省会)
	3月	役員会(次年度に向け活動内容検討..総会準備)
	3月・7月・12月	会報「コスモス」発行



講演会の様子



いちよう祭り  
「親子ふれあい広場」  
啓発ティッシュ



事業の成果・効果	<p>講演会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の虐待防止に関心を持つ一般市民及び現場関係者45名の参加を得る</li> <li>・聴講に依り、虐待につながる心理と背景、及び対応の理解が得られると共に、支援者としての心構え、自分自身を知り、限界を知ることの大切さを学んだ</li> <li>・参加者からアンケートの協力を得、講演感想と「子供の虐待」意識調査で以下の英が明らかになった             <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待が起る前に防い地域支援ネットワーク構築の必要性が重要課題であること</li> <li>・ネットから漏れして子どもと居る場所での施設、利便の確保が切望されること</li> <li>・現在は活動に熱心でないが、何らかの形で子供の虐待防止の力になりたい、関わりたい、役に立ちたい、という思いを強く持っている市民が多数存在すること</li> </ul> </li> </ul> <p>以上、本講演会が、現場関係者、一般市民などから明日へつなげる確かな学びとして、日々の活動の足場として得たことを実感している</p> <p>いちご親子「わくわく広場」参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200組の親子が「めり絵コーナー」で参加</li> <li>・虐待防止のための啓発のための「パンフレット」：カードと直筆書と市内の連絡先を入れて1000冊作成し、このパンフレットとめり絵のコーナーに参加したお母さんに配布し、PRされた。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 講師打合せのための交通費を計上していたが、近郊で対応可能と判明となり
	その他、評価すべき点等	講演会に於ける質疑応答は、子供の虐待防止を願う市民の思いが如何に切実であるかを感ぜられた。この思いが「地域のネットワーク」を築き、胎動があり、あるコーナースタッフの存在を得れば、ハズシ地域全体に根を張る「子供の虐待防止ネットワーク」の構築が可能と希望

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。 を持ち得た

今後の事業展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 賛助会員枠を設ける。或いは専任で講師を受け下さる方を捜す。専ら方策で、年一回の講演会実施を目標とする</li> <li>2. 関連する市民グループや連携を促し、外からの視察を得、活動の広がりや活性化に努める</li> <li>3. 定期的に勉強会を開催することで、会員参加を計り、資質向上に努める</li> <li>4. 会への信頼を得られるよう組織体制の整備と強化を計る</li> </ol>
---------	---